

講義名	生理学
開講学年	1
単位	2

授業の達成目標	人体の機能を知り、栄養学の根本的な部分を理解し、他分野との関わりを深め、説明することができる。
授業の概要	生理の分野について、前期で学んだ解剖学の知識を元に理解する。
授業形式	講義

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	概念	解剖学で学んだ身体部位がどのような機能や役割を担っているかを具体的に復習しながら学ぶ	ホメオスタシス
2	骨格系	骨格が生命にとってどのような役割を果たしているかを学ぶ	骨芽細胞、破骨細胞、骨代謝
3	筋肉	骨格系、平滑筋、心筋の役割及び筋肉の収縮について学ぶ	ミオシン、アクチン
4	血液	血液の役割、血液の組織について学ぶ	赤血球、白血球、血小板
5	循環器系	血液の循環サイクルや2つの血管系について学ぶ	肺循環、体循環
6	呼吸器系	肺における呼吸のメカニズムについて学ぶ	内呼吸、外呼吸
7	消化器系	消化系の嚥下のメカニズムなどの運動について学ぶ	嚥下、蠕動運動、分節運動、振り子運動
8	消化器系	消化器系の消化や吸収、消化器系の内分泌について学ぶ	アミラーゼ、ペプシン、トリプシン、リパーゼ

9	泌尿器系	腎臓のろ過や尿の排泄などの役割について学ぶ	浸透圧、電解質、RAA 系
10	内分泌系	ホルモンの種類や構造、作用について学ぶ	フィードバックシステム
11	生殖器系	男女の生殖器の役割や受精・妊娠について学ぶ	性周期、妊娠、分娩
12	神経系	神経細胞が興奮し、その興奮がどのように伝えられるかの仕組みを学ぶ	シナプス、ニューロン、活動電位
13	神経系	神経系の役割と中枢神経系の役割について学ぶ	脊髄、脳幹
14	感覚	感覚の中でも味覚や聴覚の特別感覚について学ぶ	視覚、聴覚、嗅覚、触覚
15	まとめ	後期の総括	

事前・事後学習の内容	順次教科書の前半から授業は進めていくため、予習をしておく。
成績評価の方法	テスト 100% 評価基準は合計 90 点以上 : S、85～89 点 : A+、80～84 点 : A、75～79 点 : B+、70～74 点 : B、65～69 点 : C+、60～64 点 : C、60 点以下 : D とし、D は不合格とする。 ただし、出席が 2/3 未満の場合は評価をせず不合格とする。
参考書	無し
教材	教科書（栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学：羊土社）